

社会資本総合整備計画														事後評価書		令和08年08月07日	
計画の名称	加古川市における下水道の安全・安心の推進（３）（防災・安全）																
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（5年間）												重点配分対象の該当				
交付対象	加古川市																
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		3,458	A	3,458	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道による都市浸水対策の達成率を45.6％(R2)から50.0％(R6)に増加させる。			
	都市浸水対策を実施すべき区域のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対し安全である下水道整備が完了している区域の割合 (下水道による都市浸水対策達成率) 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(3,463.7ha)	45％	49％	50％
2	ポンプ場の耐震診断を実施し、必要に応じて耐震補強工事を行う。			
	ポンプ施設の耐震診断を実施している割合 耐震診断済のポンプ場数(箇所) / 耐震診断を実施すべきポンプ場数(４箇所)	0％	100％	100％
3	西脇雨水ポンプ場の長寿命化計画に基づく改築更新を令和２年度に完成させる。			
	ポンプ場の長寿命化計画が完了している場合 長寿命化計画が完了しているポンプ場数(箇所) / 長寿命化計画が完了すべきポンプ場数(１箇所)	0％	100％	100％

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	加古川市	直接	－	管渠（ 雨水）	新設	別府川第 5 排水区雨水幹 線（浸水対策）	U3.6m×1.6m～2.9m×1.4m L=380m、詳細設計	加古川市	■	■	■	■	■	476		-
	A07-002	下水道	一般	加古川市	直接	－	管渠（ 雨水）	新設	別府川第 9 排水区雨水幹 線（浸水対策）	□2.5m×2.5m～2.1m×2.1m L=840m	加古川市	■	■	■	■	■	1,011		-
	A07-003	下水道	一般	加古川市	直接	－	-	新設	別府川第14排水区調整池 （浸水対策）	調整池整備	加古川市	■	■	■			222		-
	A07-004	下水道	一般	加古川市	直接	－	-	改築	加古川市下水道ストック マネジメント計画	改築更新、計画策定	加古川市	■	■	■	■	■	1,288		-
	A07-005	下水道	一般	加古川市	直接	－	ポンプ 場	改築	ポンプ場（地震対策）	4 箇所	加古川市	■	■	■	■	■	177		-
	A07-006	下水道	一般	加古川市	直接	－	ポンプ 場	改築	西脇雨水ポンプ場（長寿 命化）	改築更新	加古川市	■					191		-
	A07-008	下水道	一般	加古川市	間接	個人	-	新設	雨水貯留施設設置の助成	貯留施設 2 2 5 戸分	加古川市	■	■	■	■	■	2		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-009	下水道	一般	加古川市	直接	－	ポンプ 場	改築	ポンプ場（耐水化）	6 箇所	加古川市		■	■	■	■	21		策定済
		耐水化計画																	
	A07-010	下水道	一般	加古川市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業（浸水対策 ）	内水浸水想定区域図作成	加古川市				■	■	70		-
											小計						3,458		
											合計						3,458		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

計画策定主体（加古川市）にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和 6 年度繰越事業完了後の令和 8 年度に実施

公表の方法

加古川市上下水道局ホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

雨水幹線の整備を実施したことにより、都市浸水対策達成率が向上した。また、ポンプ場の耐震診断を実施することにより、耐震化計画を策定することができた。さらに、ポンプ場の長寿命化計画を実施することにより、事故の発生や機能停止を未然に防止し、持続可能な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、整備計画「加古川市における下水道の安全・安心の推進（４）（防災・安全）」（計画期間：令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間））において、安全・安心、快適な暮らしを実現し良好な環境を創造するため、浸水対策を推進する。また、持続可能な下水道事業の実現に向け、下水道施設の老朽化対策及び耐震化・耐水化対策を推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	（下水道による都市浸水対策達成率）概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(3,463.7 ha)		
	最 終 目標値	50%	
	最 終 実績値	50%	
2	耐震診断済のポンプ場数(箇所) / 耐震診断を実施すべきポンプ場数(4箇所)		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	長寿命化計画が完了しているポンプ場数(箇所) / 長寿命化計画が完了すべきポンプ場数(1箇所)		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	加古川市における下水道の安全・安心の推進（３）（防災・安全）
計画の期間	令和２年度 ～ 令和６年度（５年間）
交付対象	加古川市

